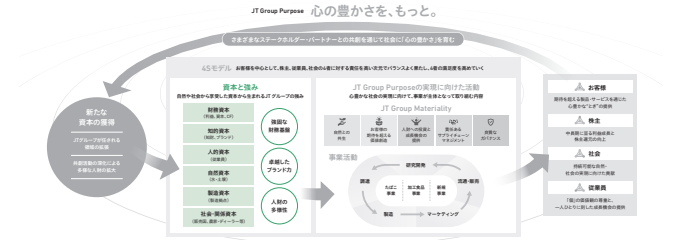


資本と強み

JTグループは自然や社会から多様な資本を享受し、事業活動を通じてステークホルダーへの価値提供を実現しています。

当社グループでは資本は循環するものと捉えており、当社グループと社会との共創により生み出された新たな資本はさらなる価値の創造に活用され、その過程で蓄積された資本は当社グループの強みを形作っています。



財務資本

堅牢性と柔軟性を併せ持つ強固な財務基盤

経済危機などの大規模なリスクが発現した際にも事業を継続していくことのできる堅牢性、魅力的な投資機会に対して機動的に対応ができる柔軟性を併せ持つ強固な財務基盤を維持していきます。

- 調整後営業利益 **9,022億円**
- 資本合計 **41,154億円**
- フリー・キャッシュ・フロー **2,727億円*** *カナダにおける訴訟の和解金に係る頭金の支払い影響を含む



知的資本

知的資本がもたらす付加価値の一層の強化

これまで培ってきた、たばこ事業におけるブランドエクイティや、各事業での高い研究開発力は当社グループの長期に亘る競争力、ひいては事業成長の源泉であると捉え、知的資本がもたらす付加価値(競争優位性)を一層強化していきます。

- 研究開発費 **524億円**
- Combustibles世界販売数量シェアトップ5のうち**2ブランド**を保有



人的資本

心豊かな社会の実現に向けた人財の活躍推進

JT Group Purposeの実現に向けた活動の起点は従業員一人ひとりであり、その活躍を推進するため、人事施策の高度化を通じた人的資本の拡充に取り組んでいきます。

- 従業員国籍数 **100カ国以上**
- 女性マネジメント比率 **26.4%**



自然資本

JTグループの持続的な成長と持続可能な社会の実現

グローバルに事業を展開するJTグループが自社だけでなく、バリューチェーンにおける環境負荷の軽減に取り組むことは、当社が持続的に成長していくために必要であり、また持続可能な社会の実現に向けて果たすべき重要な責務だと考えています。

- 取水量 **8,590千m³**
- 直接契約葉たばこ農家における**土壌資源**



製造資本

効率的かつタイムリーな製品供給を可能とするグローバルな製造体制の維持

安全な製品を効率的かつタイムリーに市場へ供給するため、これまで構築してきた最適化したグローバルな製造体制、積極的な設備投資による品質・生産性を担保した製造設備を維持・増強していきます。

- 設備投資額 **1,551億円**
- たばこ製造拠点数 **39工場(28カ国)**
- 加工食品製造拠点数 **22工場***



社会・関係資本

ステークホルダーとの信頼関係の構築

JTグループが持続的な成長を実現していくためには、ステークホルダーとの協業が不可欠であると認識し、継続的なコミュニケーションを通して築いた信頼関係による広範な協業ネットワークを構築し、社会の中で存在し続ける企業を目指します。

- 製品販売国・地域 **130以上**
- 直接契約葉たばこ農家数 **71,000以上**
- 株主数 **912,124名**



*2020年度より稼働した1工場を除きISO 22000またはFSSC 22000認証を取得